

報道関係者 各位

令和 7 年 9 月 30 日

四国大学／四国大学短期大学部

学長 松重 和美

令和 7 年度 四国大学学際融合研究所 新あわ学研究部門 研究例会の開催について

このたび、四国大学学際融合研究所 新あわ学研究部門では、つるぎ町東福寺美術館所蔵の日本画家三好賢古の絵画作品約 60 点を調査、その結果をまとめ、刊行した図録について報告する研究例会を開催します。

徳島の隠れた文化遺産に光を当てる取組みであり、東福寺美術館の地域における博物館としての機能・役割についても再認識いただける内容になっています。

1. 日 時 令和 7 年年 10 月 9 日（木）16：20～17：40

2. 会 場 四国大学文学館 1 階 F101 講義室

3. 内 容 近現代徳島の文化遺産の保存・継承

—つるぎ町東福寺所蔵三好賢古絵画作品調査と東福寺美術館の役割

① 東福寺 住職 沖田 憲信 氏

「東福寺の歴史と美術館」

② 四国大学文学部日本文学科 教授 須藤 茂樹

「近代阿波の絵師 三好賢古の画業と作品」

③ 東福寺 名誉住職 沖田 定信 氏

「東福寺から見た文化財の保存と活用」

4. 申 込 不要（聴講無料）

県民の皆さまに広くお伝えしたい内容となっておりますので、ご多用とは存じますが取材をご検討くださいますよう、お願いいたします。

<本件に関する問合せ先>

四国大学学際融合研究所事務局

（学部運営支援課）

担当：横田、福長、田崎

088-665-9909（平日 9～17 時）

四国大学学際融合研究所 新あわ学研究部門 令和7年度研究例会
図録『三好賢古 近代阿波の住吉派』刊行記念報告会

近現代徳島の文化遺産の保存・継承

－つるぎ町東福寺所蔵三好賢古絵画作品調査と東福寺美術館の役割－

日 時 令和7年10月9日（木）
16時20分から17時40分

場 所 四国大学文学館1階F101講義室

内 容

- 16時20分 あいさつ・趣旨説明
- 16時30分 沖田憲信 東福寺の歴史と美術館
- 16時50分 須藤茂樹 近代阿波の絵師 三好賢古の画業と作品
- 17時10分 沖田定信 東福寺から見た文化財の保存と活用
- 17時35分 御礼・あいさつ

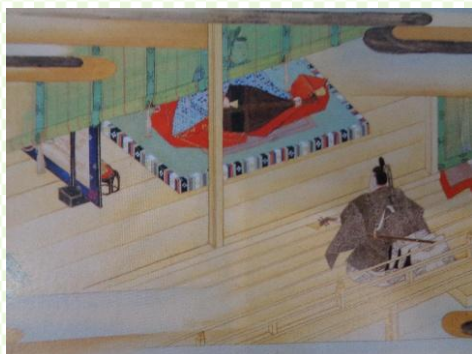


概 要

近現代の文化遺産が知らないうちに消滅・散逸している。この危機を脱するために、いままで見過ごされてきた近現代の文化遺産に目を向け、調査研究して価値を見出すことが重要である。

徳島の隠れた文化遺産に光を当てるとして、令和6年度につるぎ町東福寺美術館所蔵の日本画家三好賢古の絵画作品約60点を調査した。調査には本学大学院生も参加した。その成果として令和7年7月に図録を刊行した。これを記念して報告会を開催し、あわせて、東福寺美術館の地域における博物館としての機能・役割についても紹介する。

なお、本調査は、東福寺と四国大学の共同調査で行われた。四国大学学際融合研究所新あわ学研究部門のプロジェクト研究「近現代徳島の文化遺産の保存・継承－つるぎ町東福寺所蔵三好賢古絵画作品調査－」（令和6年度）、「近現代徳島の文化遺産の保存・継承－つるぎ町東福寺所蔵三好賢古絵画作品調査と東福寺美術館の役割－」（令和7年度）の成果である。



問い合わせ先

四国大学 学部運営支援課 088-665-9909

四国大学文学部日本文学科

日本文化史・博物館学研究室 088-665-9546